育友会報 こまどり

第34号
発行
奈良県立香芝高等学校
育　友　会
TEL（0745）76-6772
FAX（0745）78-5730

球技大会

入学式

ごあいさつ

育友会会長　池田　孝志

本年度育友会会長を任命いただきました池田孝志と申します。

育友会会員の皆さまには各種研修や行事のご案内、目立った活動のご報告をできないまま年の瀬を迎えてしまったことを残念に思っております。

今西校長先生をはじめ諸先生方には、新型コロナウイルスに何かと振り回され、思うように学校教育を進められない中、粉骨砕身して子どもたちと向き合ってくださっていることに深く感謝申し上げます。

本年度も本部役員は育友会8名、文化体育後援会7名（兼任2名）専門委員会10名の合計23名で活動させていただいております。

例年ですと学校内外で行われる多数の行事に従事させていただくところが、本年度はことごとく中止に追い込まれております。秋頃から、感染拡大に十分注意して経済活動を進める機運が広がりましたが、冬を迎え、感染者が再び増加し始め、育友会の家庭教育研修旅行も開催を見送らざるを得なくなりました。

さて、そんなウィズコロナで社会経済の在り方がごろっと変わってしまい、倒産しそうにもない大きな会社があっという間に多額の赤字になったかと思うと、小さな会社が躍進したりと、何が起こるかわからない昨今、自らが学ぶ力が試されているのではないでしょうか。

子どもたちには、あらゆるリスクを見据えながら自分自身の進む道を多角的に考える力を養ってもらい、力強く社会で生き抜いていってほしいと願っています。

いまだ香芝高校の子どもたちの前に顔を出させていただく機会もなく、特に3年生の皆さんには卒業式で初めましてさようならとなってしまうことが残念でなりませんが、役員一同協力し合い、可能な限り育友会活動に取り組ませていただく所存ですので、今後とも、ご支援とご協力の程たまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の中で

校長　今西　一盛

育友会の皆様には、平素より本校教育の推進にご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行とともにスタートした令和二年度も折り返し点を過ぎました。保護者の皆様には、特に一学期に、臨時休業措置や学校行事の変更が相次ぎ、ご迷惑ご心配をおかけをいたしました。まだまだ油断はできない状況ですが、二学期以降は、感染防止対策を講じながら、芸術鑑賞会、校外学習、球技大会等を実施させていただいたほか、十一月からは時差登校を解除し、通常授業に戻させていただきました。部活動の大会も開催されるようになり、就職試験や大学入試も例年より少し遅れ気味ながら始まるなど、「新しい生活様式」の中での学校生活が落ち着きつつあります。

この間、密集状態を避けるために「リモート」での授業が注目を浴び、本校でも一部の授業を配信させていただきました。また、昨年各教室に設置いただいたプロジェクタをフル活用し、始業式や学年集会、生徒会選挙立会演説会等を開催させていただきました。

対面ではない分、臨場感や訴求力などにはやや物足りなさを感じ、リモートが万能ではないという思いをもつ一方、時間短縮や空間確保が容易であり、有効な活用場面を今後も検討していくことの必要性を改めて感じているところです。

今年度開設いたしました「表現探究コース」は、メディアに取り上げていただく機会も多く、創立四十一年目の歴史を飾る良いスタートを切れたと思っています。今後も、「元気いっぱい、一歩前へ」進む香芝高校を目指して教育の充実を図る所存ですので、引き続きのご支援ご協力をよろしくお願いし申し上げます。

役員活動について

文化体育後援会会長　堀川　浩子

今年ももう数えるほどになりました。

会員の皆様には、平素より育友会・文化体育後援会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今西校長先生をはじめ、諸先生方におかれましては、日頃より生徒たちへの熱心なご指導をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

私事ですが、数年前に他県から奈良県に引っ越しをしてきて、新しい土地になかなか馴染めずにおりました。長子の高校の入学と同時に本部役員をさせていただくことになり、高校のPTA活動はどのようなことをするのだろうと不安を感じながらの参加でしたが、想像以上に高校の役員活動は楽しく、貴重な経験も色々とさせていただきました。良い人たちにもたくさん出会えました。何より、役員を退いてからも、永く付き合える友人に巡り会えたことは一番の宝だと思っております。

役員の活動も最終年になり、生徒たちや保護者の皆さまにとって、より良い活動をと意気込んでおりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症のためにほとんどの活動が中止になりました。新たに役員を引き受けてくださった方々とも、顔を合わせ話をする機会が例年に比べてわずかであったことも残念でした。

現在、コロナ禍で生活スタイルがリモートにより激変し、便利な反面、外出機会が減り、個々の関係が希薄になり、新しい出会いの場も少なくなったように思います。これらのことは今後のPTA活動においても新たな課題になりますが、残り少ない任期の中で感染拡大に気をつけながら、生徒の学校生活のサポートを行っていきたいと思っております。今後ともご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

スクールカウンセラー

大野　奈津子　先生
古久保　奈那　先生
＜原則として月・金曜日に来校＞

今年度より本校に勤務している大野奈津子です。スクールカウンセラーの仕事は、育友会の皆様の御助力に支えられており、この場をお借りしお礼を申し上げます。

私はこれまで、総合病院の心理相談室に長く勤め、生後数ヶ月の赤ちゃんから高齢者まで、まさに揺り籠から墓場までの道のりを生きる方々とお会いしてきました。人は、どの年齢、どんな状況であっても、折々の心のテーマを抱えて生きています。それは最初、混乱や葛藤、怒りや哀しみの形をとって立ち現れてくることが多く、そのテーマが何であるのかを丁寧に探索してゆくことが心の成長につながると実感してきました。皆様は「心の成長」と聞いて、どのような状態を想像されるでしょうか？答えは簡単ではありません。私はこの頃、心の成長とは「昨日までの自分を十分に使いながら、新しい自分を創っていくこと」と感じています。自分以外の別人になり変わることも投げ出すこともできない時に、どうやって自分自身を生かしていくか。そういった心の課題について、ご一緒に考えていければと願っています。

スクールカウンセラーとして毎週金曜日に勤務している古久保奈那と申します。お子さんの学校生活のことで心配なことや気にかかることなどございましたら、相談の最初の窓口としてご活用いただければ幸いです。お子さんのことについて一緒に考えていきたいと思っています。

令和2年度本部役員紹介

育友会
会　長　池田　孝志
副会長　山本　眞二
副会長　高力　佳奈
副会長　喜多　学志
庶　務　杉本貴代美
会　計　巽　由佳
会計監事　南　公仁子
会計監事　瀬戸加奈子

文体後援会
会　長　堀川　浩子
副会長　阪口真紀子
副会長　石原　亮子
庶　務　杉本貴代美
会　計　巽　由佳
会計監事　道法　有香
会計監事　安達　更紗

生徒指導委員長　樋口　信隆
副委員長　岡　ユウ子
保健体育委員長　脇阪　佳エ
副委員長　森島　直子
進路対策委員長　岡田　由香
副委員長　松本　真紀
家庭教育委員長　日笠　律子
副委員長　白木　治子
人権教育委員長　紙中　昭
副委員長　杉尾　史子